

2026年3月期（第58期） 第2四半期 決算説明会資料

加賀電子株式会社

<東証プライム市場：8154>

2025年11月27日



JPX-NIKKEI 400

2023 - 2025



JPX-NIKKEI Mid Small

2021 - 2025

経営トピックス

代表取締役 社長執行役員
門 良一

2026年3月期Q2の総括

(単位：百万円)

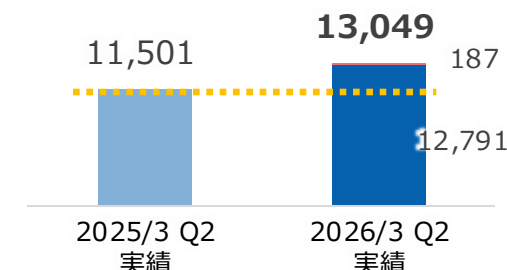
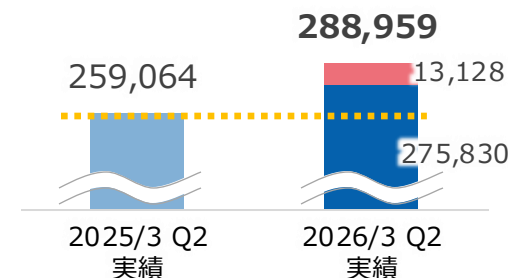
■ 協栄産業除く ■ 協栄産業

売上高

営業利益

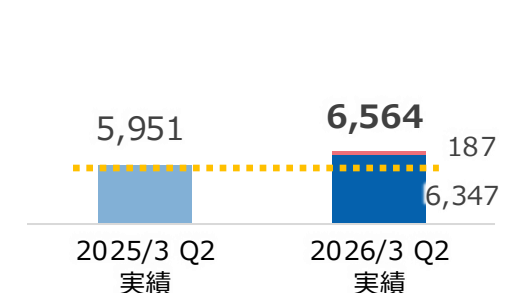
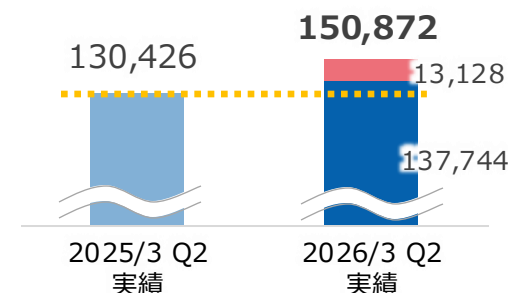
Q2 (4-9月)
実績

- 前年同期比「増収増益」
- 買収影響除いても「増収増益」



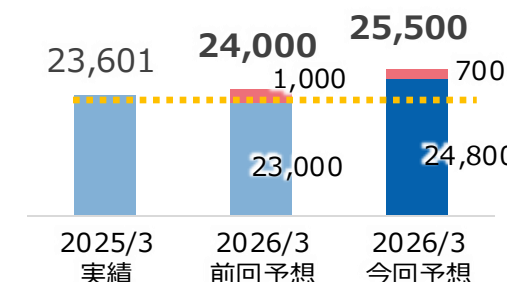
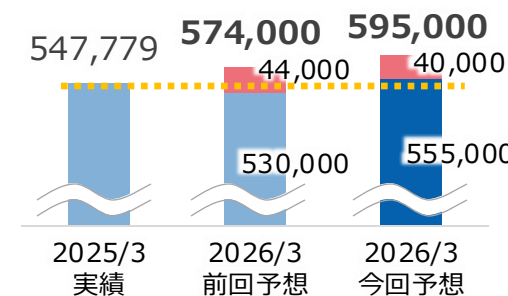
Q2 (7-9月)
実績

- 前年同期比「増収増益」
- 買収影響除いても「増収増益」



業績予想

- 今期二度目の「上方修正」
- 買収影響除いても「増収増益」



(注)：営業利益については、グループ会社間での連結調整前の数値を記載しております。

新工場建設の目的・狙い

- 自社開発の生産設備導入により、「自動化」「省人化」を徹底した高効率な生産体制を構築
- 完成品組立てライン新設により、米国向け等の顧客ニーズに対応
- 新工場含めタイ3工場で5年後には売上高500億円を目指す

<アマタナコン第1工場>



<アマタナコン第2工場>



アマタナコン第3工場



	アマタナコン第1工場	アマタナコン第2工場	アマタナコン第3工場
所在地	チョンブリー県アマタナコン工業団地	同左	同左
延床面積	5,250㎡	5,300㎡	4,400㎡
生產品目	エアコン用・車載用基盤実装/組立	事務機器用基盤実装/組立	エアコン用・車載用基盤実装/組立 北米向け完成品・ユニット組立
稼働時期	2012年4月	2019年12月	2025年内目途
投資額	約46億円（累計）	約20億円（累計）	約13億円（初期投資）



中国大手設備メーカーと合併で、生産設備の開発/設計/製造を行うことで、
圧倒的なコスト競争力に加えて、高品質で高信頼性な基板実装のトータルソリューションを実現

局部半田槽



主な製品群

- ①1ヘッド機 ISF-300
- ②2ヘッド機 ISF-450-II
- ③4ヘッド機 ISF-450D
- ④4ヘッド機 ISF-450-4H
局部半田槽高速版
- ⑤局部フラックス塗装机

表面実装机



主な製品群

- ①CPM H2 : チップ部品実装
- ②CPM F2 : 異形部品実装
- ③CPM/FH : 小型チップ部品実装

検査機



主な製品群

- ①3D SPI : クリーム半田測定
- ②SMT後AOI機 :
実装部品外観検査
- ③半田槽前S-AOI :
手差し部品検査
- ④半田槽後AOI :
半田上がり検査、部品浮き検査

垂直高温炉



主な製品群

- ①Coating硬化炉
Coating後完全硬化
- ②Potting硬化炉
Potting後完全硬化
- ③高温老化試験炉
完成品高温老化試験

買収のスキーム

- ① TOB実施：2025年7月18日、TOBにより協栄産業普通株式45.16%を取得。**既保有株と併せた持ち分は54.48%となり、連結子会社化**
- ② 株式併合：同年9月29日開催の同社臨時株主総会にて株式併合を承認。**同年10月16日付で上場廃止**
- ③ 100%子会社化：同年11月7日付で三菱電機保有株（558,958株）を全株取得、**100%子会社化**
- 買収価額：①～③を合わせて、総額107億円

協栄産業の 事業内容

販売：半導体、電子デバイス、産業機器、情報通信機器、3Dプリンター、プリント配線板 など
開発：ソフトウェア、アプリケーション、システムソリューション、エンベデッドシステム、ICデザイン など
製造：情報通信機器 など

買収の狙い

- 半導体デバイス：重複しない製品を相互補完、当社が持つEMSネットワークを活用した付加価値創出
- 産業機器システム：当社のグローバルな対応力を活用してインドなど海外市場で販売拡大
- システム開発：当社の有するアセット（ハード、ソフト）と組み合わせ、ソリューション提案を拡大

産業機器システム事業

FA（機器、加工機、ロボット）、自動化システム、
空調冷熱機器、3Dプリンタを販売

加工機 & ロボットソリューション



ワイヤー
放電加工機



ファイバーレーザー
加工機



産業ロボット

搬送ロボットソリューション



Geek製『ムービングシステム』



無人搬送車『サウザー』



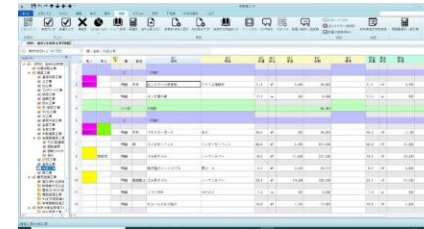
FEXA製『自律走行型搬送ロボット』



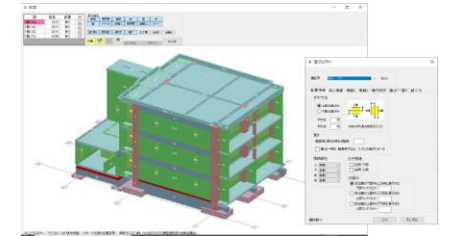
システム開発事業

建設、タクシー、流通業界に特化したシステム開発、
システムインテグレーション、受託開発を実施

建設DXを推進する高性能・高品質なパッケージソフト



見積書作成システム
「KYOEI COMPASS 2.0」



RC数量積算システム「FKS RC 2.0」

業界を熟知した技術者が提案するオーダーメイドソフト

開発事例



大成設備株式会社様
管理資料作成業務支援ツール

導入事例



新日本建設株式会社様
「高精度・スピード・汎用性」
を兼ね備えた積算・見積ソフト



大末建設株式会社様
建設現場コスト管理
一貫システムの構築

新中計における
株主還元方針
(2024/11/6公表)

- 中長期的な配当成長の目安：「**連結配当性向30~40%**」に引き上げ（従来方針は25~35%）
- 安定配当の目安：「**DOE（連結株主資本配当率） 4%**」を新たに導入
- 機動的な還元施策：利益水準や資本効率性に応じて、**特別配当**や**自己株式取得**を機動的に実施

自己株式取得・消却
取得：2025/8/8
消却：2025/8/18

- CGコードの要請に沿った政策保有株式縮減の観点から売却意向があった**主要取引銀行 4 行の保有株式**を東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）にて**総額144億円で全株取得**
- 取得した**492万株（発行済株式総数の9.4%）**は**全株消却**

配当予想 前回予想：2025/8/7を 据え置く	当初予想			前回予想		今回予想	
	2025/5/7公表			2025/8/7公表		2025/11/6公表	
	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	16,500		24,200		26,000	
	EPS（1株当たり純利益、円）	313.95		488.45		524.78	
	1株当たり年間配当予想（円）	110.00		120.00		120.00	
	うち特別配当	—		10.00		10.00	
	連結配当性向	35.0%		24.6%		22.9%	
	※負のれん72億円を除いた連結配当性向	—		35.0%		31.6%	
	DOE（株主資本配当率）	3.9%		4.2%		3.9%	
	※負のれん72億円を除いたDOE	3.9%		4.3%		4.0%	

『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報部

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7131

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入